

会員と支部がともに成長する胎内支部を目指して

～会員一人一人が「人財」として輝くために～

「人財」には、“一人一人の会員はかけがえのない大切な存在であり、今後の成長を期待する”という思いと願いが込められた。

《理念1：支部として》
会員が支部活動に価値を見出し、活躍できる場を提供すること。会員の成長に責任をもつ。

《理念2：社会人として》
誠実に責任感をもって行動する。多様性を尊重する。

《理念3：会員として》
様々なことに挑戦し、成長し続ける。組織とともに成長する。

1 大綱の方針

- ◎ ときわ会本旨にある「不朽の理想実現」のために、支部の先達が築いてきた成果と伝統を継承しつつ、会員一人一人の実践的指導力の向上のために研修の推進に努め、支部内外や他機関・団体との連携と協働により、一人一人が「人財」として輝きを放つ胎内支部を創造する。
- (1) 学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」を実現し、子どもたちに資質・能力を育む授業へと改革する研修を支部運営の中核に位置付ける。
 - (2) 胎内支部の一員としての所属感や連帯感を高めるとともに、子どもや保護者、地域から信頼され、頼りにされる教師として輝きを放つ存在となるよう支援する。
※ 「社会に開かれた教育課程」の編成とカリキュラムマネジメントの研修を重視
 - (3) 変化の激しい時代だからこそ、新たな知識や技能を見出し、自分のものとする「温故知新」の精神を会員と共有したい。そして、新しい価値観を生み出す源である想像力の豊かな次代の教育を担う人材を計画的に育成していく。
※ 「胎内支部ときわ未来図」第Ⅱ期：育みの期の取組の推進
 - (4) OBや他支部を含めた会員同士の交流やコミュニケーションの機会を大切にし、会員相互のつながりがより深まるようにする。
 - (5) コミュニティ・スクールの趣旨の実現のため、地域に対する愛着と貢献の心を持ち、地域の中の学校に勤務する学校職員として、「率先垂範」を心がける。
 - (6) 「第二次胎内市教育振興基本計画」を踏まえ、行政機関やPTA等の関係団体とベクトルを同じに協働を図りながら、特色ある支部運営に努める。

2 重点施策

(1) 実践的指導力を高め、新しい時代の教育を創り出す研修の充実【研修】

- ア 授業改革をはじめとする実践的指導力を高めるとともに、これからの教育を創造・実践するための研修総会の実施（市教委等との連携）
- イ 児童生徒の資質・能力を育むための授業力向上に向けた個人研修及びグループ研修の推進（連合研修総会や特別支援教育研修会への参加、各分野で活躍する講師の招聘）
- ウ これからの教育を中核として担う人材育成をねらいとした若手研修の充実
- エ 外国語教育やプログラミング教育など新しい教育内容の研修の推進
- オ 本部の研修や論文等へ積極的な参加・発表とそのための支援

(2) 支部への所属感と連帯感の高揚【組織】

- ア 一人一人の顔が見えるという利点を生かしたきめ細かな指導・支援と各活動への積極的な参加、自立会員へのきめ細かな配慮
- イ 管内外の勤務者等との絆を深める「たいないの会」の充実
- ウ 女性会員の加入も含めた新入会員の入会の促進
- エ 地域貢献活動（市の事業や地域ボランティア等）への積極的な参加と「教育フォーラム」等による地域ネットワークづくりの推進
- オ 特別研修による資質向上と計画的な管理職の育成

(3) 会員個々のよさの積極的な発信とネットワークの強化【広報】

- ア 広報誌「くしがた」等による広報活動の一層の充実
- イ 個々の会員の活躍や成果、本部からの情報等の会員への迅速かつ正確な発信
- ウ 様々な団体（PTAや新潟県少年自然の家、新潟食糧農業大学等）やその関係者とのネットワークの拡充

(4) 会員の活躍や努力に焦点を当て称賛する顕彰制度

- ア 支部の表彰規程に基づく会員の表彰
- イ 「ときわ教育賞・教育奨励賞」を目指す人材の育成
- ウ 「ときわスーパーティーチャー認証制度」に基づく人材の育成

(5) 北新連合等との連携・協働

- ア 会員の北新連合への所属感・連帯感を高める支援と組織の強化
- イ 「ときわ北新」による広報活動の充実
- ウ 互いを高める支部間交流の推進
- エ 会員の授業力向上のための「北新連合研修総会」の運営・実施
- オ 会員を問わず互いに練磨する「ティチャーズフォーラムin北新」の充実

(6) 支部「ときわ未来図」の確実な推進と150周年の先を見据えた確実な取組

- ア 会員のライフステージや各年層のニーズに応じた組織的な支援
- イ 「社会に開かれた教育課程」の編成とそのカリキュラムマネジメントに関する取組
- ウ 150周年の先を見据えた、ときわ会の取組と組織の在り方の探求

(7) 支部OB会員との一層の連携強化

- ア OB会員との積極的な交流
- イ 現職会員の資質向上のための支援の充実